

- 2・3面【安全特集】造園工事における感電事故防止について
- 3面【学会の目・眼・芽】風景の価値をデザインする
(公社)日本造園学会学術委員会・大阪公立大学大学院農学研究科 准教授 武田 重昭
- 4面【ふるさと自慢】加須…「かす？」ではありません 「かぞ」です
埼玉県支部 妹尾 順子 (株)大利根造園
- 【緑滴】 緑を繋ぐ 茨城県支部 茂木 夢乃 (株)水庭農園

日造協会員の方々への「日造協ニュース」は偶数月がPDF版の配信です。
日造協メール、日造協ホームページに掲載をしていますので、ご活用ください。

令和6年度 国土交通省 国営公園等予算 国費 323 億 8,600 万円

令和6年度の国土交通省都市局の国営公園等予算は、国費 323 億 8,600 万円の対前年度倍率 1.00 倍となった。基本方針では、サステナブルでゆとりとにぎわいのあるまちづくりの実現に向けて、5つの基幹的取組を踏まえつつ、3つの重点課題のまちづくりGX、地方都市再生都市の国際競争力強化、「こどもまんなかまちづくり」に取り組む。

都市に取組が求められる3つの視点

①気候変動への対応



都市緑化等によるCO2の吸収



エネルギーの面的利用のイメージ

②生物多様性の確保



生態・生育空間の保全・再生・創出

③Well-beingの向上



緑地のある居心地の良い歩行空間



環境教育の場

4つの重点取組テーマ

1. 緑地に関する官民の共通認識の形成 <ul style="list-style-type: none">都市計画における緑地の位置付けを向上させると共に、国・地方公共団体による都市の緑地に関する目標を打ち出す。広域の見地から計画的に緑のネットワークを形成し、緑の機能発揮による魅力的でコンパクトなまちづくりを推進。	2. 都市の緑地に対する民間投資の促進 <ul style="list-style-type: none">ESG投資※1やTNFD※2等の世界的な潮流を踏まえ、良質な都市の緑地を創出・維持するプロジェクト等を客観的指標で積極的に評価し、民間資金を集める仕組みを導入。 ※1 ESG投資：従来の財務情報だけでなく、環境・社会・ガバナンスの要素も考慮した投資 ※2 TNFD(Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)：自然に関する企業のリスク管理と開示の枠組みを構築するために設立された国際組織
3. 地方公共団体等による緑地の保全・整備の推進等 <ul style="list-style-type: none">都市の貴重な緑地の量や質の向上に向け、都市計画税の充当を可能にする等、地方公共団体に対する支援の充実と共に、国が指定する法人による緑地確保支援の仕組みを構築。	4. 都市のエネルギー利用の再エネ化・効率化 <ul style="list-style-type: none">エネルギー密度の高いエリアにおいて、再エネ化等の取組に対する集中的な支援や、エネルギーを面的に利用する施設の拡充を図るための支援を行うなど、取組を深化。

まちづくり GX における施策の概要

令和6年度都市局関係予算の公園緑地関係では、まちづくり GX として、G7 香川・高松都市大臣会合でも取り上げられた、地球的・国家的規模の課題である①気候変動への対応 (CO₂の吸収、エネルギーの効率化・暑熱対策等) や②生物多様性の確保 (生物の生息・生育環境の確保等) に加えて、コロナ禍を契機とした人々のライフスタイルの変化を受けた③ Well-being の向上 (健康の増進、良好な子育て環境等) の社会的要請に対応するため、これらに大きな役割を有する都市緑地の多様な機能の発揮及び都市におけるエネルギーの面的利用の推進を図る取組み等を進める。

こども・子育てにやさしいまちづくりとしては、こどもや子育て当事者からニーズの高い身近な都市公園の計画策定・整備を重点支援、こどもやこども連れの保護者が歩きやすい歩行空間の整備への支援を強化する。

防災・減災まちづくりの更なる推進としては、激甚化・頻発化する自然災害に的確に対応するため、防災・減災を主流化したコンパクトシティ、災害リスクの高いエリアからの移転促進などの事前防災まちづくりを推進するとともに、盛土の安全確保対策を着実に推進。安全・安心な都市公園の確保で、都市公園における豪雨対策や耐震改修、防犯対策、長寿

命化計画の策定支援を推進する。

2027 年国際園芸博覧会 (略称: GREEN × EXPO 2027) に向けては、花と緑の関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会を創造する機会となるよう、開催準備を着実に進める。

さらに、新規・拡充事項等のうち、地方公共団体等による緑地の保全・整備等の推進において、「国指定法人による緑地の買入れ等」については、質・量両面での都市緑地の確保に取り組む必要があることから、公益団体 (国土交通大臣が指定する法人 (国指定法人)) が、特緑等の緑地の買入れ等を行う制度を創設するとともに、国指定法人が安定的な財源と専門的知見を基に緑地の買入れや緑地の機能維持増進事業を実施できるよう都市開発資金による貸付制度を創設した。

「都市公園・緑地等事業」については、地方公共団体が国指定法人から特緑等の土地を分割で買い戻す際に社会資本整備総合交付金により支援を行うほか、緑の基本計画等に位置付けられた樹林の皆伐や択伐等の緑地の有する機能の維持増進を目的とした事業 (機能維持増進事業) を支援対象に追加。都市の生物多様性確保に資する都市公園の整備等を進める。

「国営公園等事業」については、国営公園において、生息環境の保全や環境教育の実施等、生物多様性の確保を図る。

春の叙勲・褒章 3 氏受章

2024 春の叙勲・褒章受章者が発表され、日造協関係では、3 氏が受章の栄に

輝いた。

【旭日双光章】田中静雄氏 (70) (株)田中造園土木社長 (鳥取県) 【黄綬褒章】沢津橋鉄盛氏 (71) (株)沢津橋造園代表取締役 (鹿児島県)、松田英明氏 (59) (株)松田久花園社長 (長崎県)



田中 静雄 氏



沢津橋 鉄盛 氏



松田 英明 氏

樹林

(一社)日本造園建設業協会業務執行理事
(株)日比谷アメニス 代表取締役 伊藤 幸男

人材を人財にする経営

この原稿を書くにあたって、まず AI に「造園建設業の経営課題」を聞いてみたところ以下のような返答があった。



①労働力不足：造園業は労働集約的な分野であり、特に若年層の就業者が減少している。技術者や熟練労働者の確保が困難になっています。

②コスト増加：資材費や人件費の増加が続いており、特に環境に配慮した材料の使用はコストが高い傾向にあります。また、維持管理のコストも重要な課題です。

③技術革新への対応：デジタル技術、特にデザインプロセスの 3D モデリングやドローンを利用した調査、GIS (地理情報システム) の活用が進んでいます。これら新技術への投資と適応が求められています。

④環境への配慮と持続可能性：環境保護規制の厳格化に伴い、持続可能で環境に優しい設計が求められます。生物多様性の保護やエコシステムサービスの提供をどう組み込むかが鍵です。

⑤顧客ニーズの多様化：顧客の要求は多様化しており、個別のカスタマイズやユニークなデザイン要求が増えています。顧客の期待に応える柔軟性が求められます。

⑥規制と法規制の遵守：地域によって異なる建設規制や環境規制への対応が必要です。これらの法律を遵守しながらプロジェクトを進めるための知識と体制の整備が重要です。

⑦市場競争の激化：低価格競争による収益性の低下や、新規参入者との競争が続いています。差別化とブランドの構築が成功の鍵となります。

これらの課題に対処するために、造園建設業界の企業は、事業戦略を見直し、新技術の導入、環境への配慮を強

化したサステナブルな事業運営、人材育成といった取り組みを進める必要があります。また、顧客とのコミュニケーションを強化し、より具体的で個別化されたソリューションを提供することも成功には欠かせません。



まことにごもっともである。

この程度の返答であれば、造園に関係のない人でも誰でも書けるということである。では、実務を行う経営者として、この課題と自社の技術やノウハウ基盤を使って、どう取り組んでいくか、が重要となる。これも AI に聞くとの確かな答えが返ってきた。



1. 労働力不足の解消
若年層へのアピール：職業教育の機会を提供し、造園業界の魅力をアピールすることで若年層の興味を引きつける。

研修・教育プログラムの充実：従業員に対する技術研修やキャリアアップ研修を充実させ、スキルアップを支援。外国人労働力の活用：法規制を遵守しつつ、必要な手続きを踏んで外国人労働者を積極的に採用。

2. コスト増加の管理……………



あとは、それを実行していくだけであるが、これがまことに難しい。パースも図面も AI が書いてくれる時代となり内訳書も工事手順書も自動化できる。竣工図も出来形図もドローンを飛ばして 3D スキャナーで計測すれば数時間で出来上がる。

しかし、造園施工をロボットが自動的にやってくれる時代はまだ先だろう。時代の変化を読み将来価値を加えた造園空間を考えることと、それを造り出す人材を人財にすることこそ今の経営なのだろう。

う、認定を受けた同計画に基づく緑地の整備等事業の実施について、都市開発資金による貸付制度を創設するとともに、グリーンインフラ活用型都市構築支援事業の支援対象に追加し、民間投資による良質な都市緑地の確保を推進する。

令和6年度 通常総会 講演会・意見交換会

6 月 24 日 (月) 14:00 ~

ホテルグランドアーク半蔵門
東京都千代田区隼町 1-1

☎ 03-3288-0111

会員の皆様のご参加をお願いいたします。

能登半島地震義援金のご報告と御礼

このたび皆様に義援金をお寄せいただき、北陸総支部に全額を送金させていただきました。皆様のご支援に心より感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧、復興を祈念いたします。

安全
特集

造園工事における感電事故防止について

造園作業中の感電による事故は、割合としては多くないが、命に関わる大事故になる可能性が高い。電線に触れなくても“感電”することもある。感電の危険性を認識しておく必要があるため、今号では感電事故防止について、過去の事故事例や法令等をもとに解説する。なお、この記事は中部電力パワーグリッド株式会社にご協力いただき作成している。

1. 事故事例

表1 発生時期と事故の概要

時期	事故の概要
2022年9月	市道の街路樹を2名の作業員が高所作業車に乗って剪定作業していたところ、街路樹から数m上(地上から11m)にある高圧電線に接近し感電、1人死亡、1人重体となった。高圧電線に触れた形跡はなかった。
2022年4月	送電線付近の20mの樹木を伐採作業中、送電線側へ伐倒した樹木が地上高18mの電線へ接触し一時停電が発生した。(負傷者なし)
2021年12月	ゴルフ場の立木伐採で、高所作業車に2人が乗り込みチェーンソーを使って樹木を上から段階的に伐採していたところ、66,000ボルト送電線にバスケットが接触し、2人とも死亡した。
2021年6月	工場の敷地内で、高所作業車で伐採作業中だった作業員が高圧電線に触れて感電し死亡した。

高所作業車による感電事故が多いが(表1)、事故の原因は以下のケースが考えられる(表2)。

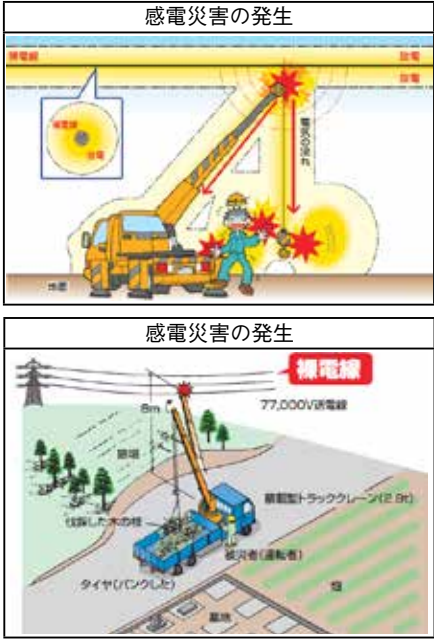


表2 事故の要因

1. 作業への没頭	⇒ 送電線の存在を忘れてしまうケース
2. 慣れない作業	⇒ 現場状況を把握していないケース
3. 作業員の急な変更	⇒ 状況変化に対応できないケース
4. 漫然作業	⇒ 注意力が散漫になったケース
5. 監視者不在	⇒ 作業員1人の判断で行ったケース
6. 悪天候時	⇒ 強風等によりブーム等が横振れするケース

2. 事業者の義務

安衛法により、事業者は労働者に対して感電防止の措置を取る義務がある。ま

た元方事業者も、関係請負人に対し危険防止の措置が講じられるように指導などの義務がある。

◆事業者の義務

安衛法第20条(事業者の講ずべき措置等)

事業者は、次の危険を防止するため必要な措置を講じなければならない。(抜粋)

三 電気、熱その他のエネルギーによる危険

(関連: 安衛附第349条(工作物の建設等の作業を行なう場合の感電の防止))

事業者は、架空電線又は電気機械器具の充電電路に近接する場所で、(中略)感電の危険が生ずるおそれのあるときは、次の各号のいずれかに該当する措置を講じなければならない。(抜粋)

- 一 感電の危険を防止するための囲いを設けること。
- 二 当該充電電路に絶縁用防護具を装着すること。
- 四 前三号に該当する措置を講ずることが著しく困難なときは、監視人を置き、作業を監視させること。

◆元方事業者の義務

安衛法第29条の2(元方事業者の講ずべき措置等)

建設業に属する事業の元方事業者は、(中略)厚生労働省令で定める場所において関係請負人の労働者が当該事業の仕事の作業を行うときは、当該関係請負人が講ずべき当該場所に係る危険を防止するための措置が適正に講じられるように、技術上の指導その他の必要な措置を講じなければならない。

(関連: 安衛附第349条の2(法第二十九条の二の厚生労働省令で定める場所))

法第二十九条の二の厚生労働省令で定める場所は、次のとおりとする。(抜粋)

- 三 架空電線の充電電路に近接する場所であつて、当該充電電路に労働者の身体等が接触し、又は接近することにより感電の危険が生ずるおそれのあるもの(関係請負人の労働者により工作物の建設、解体、点検、修理、塗装等の作業若しくはこれらに附帯する作業又はくい打機、くい抜機、移動式クレーン等を使用する作業が行われる場所に限る。)

3. 必要な安全対策

感電防止のために必要な準備をしなかったり、準備について無知であったりする事業者は、労働者を感電事故の危険にさらすことになる。

労働者に感電事故に対する危険性を認識させるために、安全マニュアルを作成したり、感電防止措置の教育を行うと良い。

事業者が行うべき安全衛生教育とは、事故を防止するために必要な安全衛生の知識を労働者に理解させることである。

必要な安全対策は、以下のとおりである。

1. 監視者を配置し、重機使用範囲を確認
2. 電線から安全な距離を保てる高さの重機を使用
3. クレーンリミッターの使用
4. 使用重機へのアース線取付
5. 注意喚起ツール(のぼり等)の設置

6. 防護ロープ・柵の設置
7. 埋設ケーブルを作業中に発見した場合は作業を中断し電力会社へ立会確認を依頼

(作業前の準備)

作業計画の作成

電線のある高所で作業を行う場合や近づく可能性がある場合は、事前に電力会社等の所有者と作業の日程や方法、防護措置(絶縁用防護管や防護ネットなどの設置)、監視の方法、所有者の立会い等について、作業日から余裕を持って十分な打ち合わせを行う(図1)。

作業手順のマニュアル化

高所で作業をするにあたっての注意点と共に、一連の作業手順をマニュアル化しておき、労働者に周知徹底させる必要がある。

また、労働者の中から安全衛生に関して深い知識を持つ者を養成し、養成者に安全衛生教育や現場の巡視などを行わせることで、安全衛生管理を徹底するように努める。

危険予知活動の実施

現場によって作業環境は様々であるので、作業前に危険予知活動を行う必要がある。

関係する労働者が危険への意識を高め、責任を持って現場の作業に取り組めるようにする。

(作業中の注意)

電線の種類と注意点

現場を確認(作業可能範囲、電線の位置、電圧の確認)したうえで、電線の種類を理解し、安全な離隔距離を保ち作業を行う必要がある。(表3)

移動式クレーン等の機体、ワイヤロープ等と送配電線類の充電部分との離隔距離は、次の表の電線路の電圧に応じ確保する。(表4)

作業中は、移動式クレーン等を使用す

表3 電線の種類と注意点

配電線	送電線
街路樹や公園などの高木植付、剪定で最も接近しやすい電線。配電変電所で6,600Vに変電されて街中の電線に配電され、電柱上の柱上変圧器で100Vまたは200Vに変圧され、引込線から各家庭へと送られる。作業の際は安全な離隔距離の2mを確保し、保護管を設置する。	高圧線と呼ぶことが多く、主に鉄塔に架設される発電所と変電所間などを経由する電線。電圧は、22,000Vから50万Vまでと高圧。裸線に接近するだけで感電の恐れがある。高電圧のため防護管は設置できない。
<ul style="list-style-type: none">・地中電線 断面径 125mm 長さ 1.5m・引込線 断面径 125mm 長さ 1.5m   <p>主にコンクリート柱を使用 一部は木柱等を使用</p> <p>民家の周辺や道路沿いに施設している柱上に変圧器・断路器がある民家などに引き込んでいる</p> 	<ul style="list-style-type: none">・アルミ線 断面径 80mm 長さ 1.5m・鋼線 断面径 130mm 長さ 1.5m・鋼線 断面径 22mm 長さ 1.5m    <p>鋼線の送電線は6600Vの配電線より細い</p> <p>主に鉄塔を使用 一部はコンクリート柱を使用</p> <p>姿がスッキリしている工場・発電所・変電所に引き込んでいる</p>  

図1 電力会社との事前協議



ライダーに集草ボックス
一体型の機種が登場!
自動圧縮集草機能
(ACTech)搭載で
300Lの大容量を実現!



NEW

RC320Ts AWD

1,540,000円(税込)
コンビデッキ別売

コンパクトな車体でバツグンの旋回性能!
ライダーから降りることなく刈高調整と
刈芝排出が可能!

別
売コンビデッキ112
税込165,000円
■刈幅:1120mm

ハスクバーナ・ゼノア株式会社
〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9



0570-550933

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日除く)

info.hv@husqvarna.jp

ハスクバーナHP www.husqvarna.com/jp/ ゼノアHP www.zenoah.com/jp/

る作業についての確な作業指揮をとることができる監視責任者を当該作業現場に配置し、安全な作業の遂行に努める。

(作業中の対策)

移動式クレーン等の機体、ワイヤロープ等が目測上の誤差等により、この離隔

表 4 送配電線類との離隔距離

電線路の電圧		最小離隔距離 (95%安全率)	より安全な距離
配電線	100V/200V/ 6,600V	1.0m 1.2m	2.0m
	11,000V～44,000V	2.0m	3.0m
送電線	66,000V～110,000V	2.2m～2.4m	4.0m
	154,000V	4.0m	5.0m
	275,000V	6.4m	7.0m
	500,000V	10.8m	11.0m

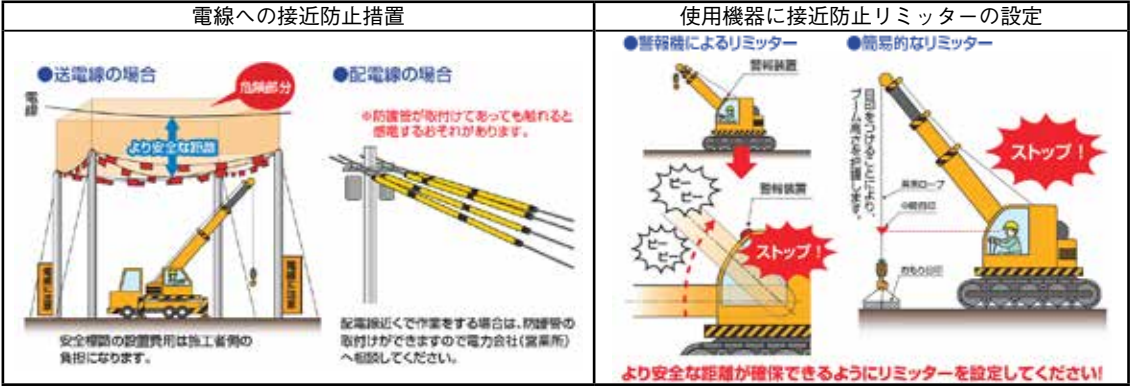
※中部電力をはじめ、全国の電力会社では停止時の「シブ断代」状態による誤差を考慮し、上記に示す「より安全な距離」を設定しています。

距離内に入ることを防止するために、移動式クレーン等の行動範囲を規制するための木柵、移動式クレーンのジブ等の行動範囲を制限するためのゲート等を設け

たり、警報機によるリミッターを設定することが望ましい。

また、上腕部もしくはヘルメットに取り付け、電線と一定の距離以内に近づい

た場合に発音および発光により作業員へ注意を促す活線接近警報器も活用すると良い。



4. 万が一事故が起きてしまったら

事故発生直後

感電事故が発生した場合、すぐに周囲の人に感電事故を知らせる。また、事故現場から離れた安全な場所に移動し、消防や警察、電力会社などに連絡する。事故現場から離れる際、労働者は車両や機械に触れてはいけない。

また、電線に接触したり、近い場所にあるクレーンは、被害拡大防止のため、電線から遠ざける必要がある。クレーンを遠ざけた後、運転者は、感電を防ぐためにも、車体に触れたまま地面に降りないように注意する。

負傷者がいる場合

感電事故が起きた時に負傷者が出た場合、周囲の人はすぐに救急車を呼ぶとともに、負傷者を安全な場所に移して応急処置を施さなければならない。

感電している人に触れると、救助者も感電する 2 次災害が発生してしまうので、直接触って助けようとしてはいけない。救助する際は、ブレーカーを切ったりコンセントを抜いて電気の流れを遮断する。やむを得ず通電を切らずに感電者を電源から引きはがす際は、素手で触らず乾いた板やゴムのような絶縁体の道具を使う。

感電は、神経や心臓にも影響を及ぼすことがある。感電した負傷者が意識を失っている場合、周囲にいる人は心臓マッサージや人工呼吸を開始する。

電線が切れた場合

樹木が倒れたり、作業中に重機が倒れたりして、電線が切れることもある。電線が切れている場合、速やかに電力会社に連絡しなければならない。

切れた電線でも電気が流れている可能性があり感電の恐れがあるので、切れた電線には近寄らない。

【造園用フルハーネスの購入方法】

造園の作業に適した「造園用フルハーネス」を会員特別価格でご購入希望の方は URL (http://shop.kousinen.com/) よりお申込ください。



学会の目・眼・芽 第 134 回

風景の価値をデザインする

(公社) 日本造園学会学術委員会・大阪公立大学大学院農学研究科 准教授 武田 重昭

『風の丘』を訪れたのは、2 月のある午後だった。細い糸のような雨がしとしと降り続いていた。雨足は強くはなかったが、あたりがしんとしているせいか、地面に降る雨の音が普段よりはっきりと聞こえる気がした。

それは、建物の壁や木々の葉や芝生の丘をしっかりと等しく包み、満たし、とても深く、まるで心にまで沁み入るようだった。ひと組の家族が故人との最後のお別れを終えて立ち去ったあとに残された匂いが、ここが特別な場所であることを強く印象づけていた。

ここは大阪府中津市にある葬祭場である。建設時の発掘調査でここに古墳があったことが明らかになったそう

だ。太古の昔より、ここは人の死と、もしくは生きるということと向き合う場所として選ばれてきたのだ。

誰もが歓迎するわけでない火葬場という施設をデザインするにあたって、建築家の横文彦とランドスケープ・アーキテクトの三谷徹は、風景の主構成を丘とした。

建物の半分は丘に埋まっており、まるで景石のように風景を引き立てる役割を担っている。芝生の丘の中央は緩やかな窪地となっており、これに合わせて横断方向にわずかに傾いた園路が凹型の大地を囲むように廻り、そこを歩くと空が大きく広がり、遠くには八

面山の稜線が見え、風を感じることができる。

火葬場を出て、この丘を歩く体験が、故人との死別という現実から、時空を越えた長い歴史の中での人の生へと思いを馳せさせてくれる。風の丘が完成して、中津の人びとは「これでわれわれは平和に死ねます」と言ったという。横はこれを「私が建築家をやってきた中で最大の賛辞だ」と語っている。

ここにある風景の価値は、賑わいばかりが求められている昨今の公共空間とは正反対のものである。つくることが目的だった時代にできた公共空間の価値を高めるために、官民連携によって、特に民にはその空間の利用を促すことが強く求められている。

しかし、この意味での利用の促進は、消費の促進とほぼ同義で、その空間が

本来持っていたはずの存在価値とはまったく別の利用価値を生み出そうとすることには違和感が拭えない。

私たちには、その存在がかけがえないもので、費用や役務を負ってでも大切にしたい風景がある。それがなければ、公共性も行政システムも不要だ。

このような共通理解を育てることは、風景をつくる専門家の役割だろう。どんなに経済が行き過ぎても、人の生きる尊厳のために、なくてはならない場所がある。それを風景の価値にまで高めた風の丘は、まさに設計者の営為が生み出した市民共有の資産である。

風景のデザインという行為の本質は、その土地がこれまで経てきた時間と向き合い、その上に人びとが共有できる価値を生むことにあるのではないだろうか。

簡単、はやい、キレイ

ずっと最新、ずっと繋がる。

造園・エクステリアCAD なら
O7CAD4
IT 導入補助金 2024 対象ソフト

簡単でキレイな理由はこちら
オーセブン キャド

07 オーセブン株式会社 ☎ 048-840-1577 ✉ media@o-seven.co.jp

ご相談受付中

今なら IT 導入補助金を活用して実質半額で CAD を導入できます！

「かす?」ではありません
「かぞ」です

埼玉県
加須…「かす?」ではありません
「かぞ」です

埼玉県北東部に位置する加須(かぞ)の魅力について紹介します。

◆

祭り「加須市民平和祭(ジャンボこいのぼり遊泳)」があります。毎年5月3日に、全長100m重量330kgの日本最大の「ジャンボこいのぼり」が上空に舞います。こ



加須市民平和祭のジャンボこいのぼり遊泳

の迫力は一見の価値があります。

◆

グルメ「加須手打ちうどん」があります。江戸時代のなかばから手打ちうどん屋が始まったとされていて、加須うどんの特徴はコシの強さとのどごしです。「足踏み」「寝かせ」といった手打ちうどんの独特の作業を通常の倍も重ねています。「加須手打ちうどん」加盟店による食べ歩きスタンプラリーも実施しています。各お店の特徴を比べて楽しんでみるのもいいですね。



◆

昔ながらの武蔵野の田園風景「浮野の里」があります。浮野は氷河期に形成された谷(現在は地下水脈となっている)の上に、何層にもなって石化した植物(泥炭)が浮かんだ状態の湿原です。地下

水脈が冷温のため、山の湿原でしか見られないトキソウや、埼玉県から絶滅危惧第2類に指定されているノウルシ(4月初旬から中旬にかけて見頃を迎えます)などの高酸性植物が自生しています。全国「水の郷百選」に認定されています。

◆

見晴らしの良い場所「カスリーン公園」があります。1947年9月、関東地方に甚大な被害をもたらしたカスリーン台風による大災害を忘れないために利根川の堤防上に、モニュメントなどが設置された公園です。ここでは快晴であれば、スカイツリーをはじめ、富士山・浅間山・赤城山・男体山・筑波山を眺めることができます。

◆

絶景すぎる埼玉の初日の出スポット「埼玉大橋」があります。こちらは初日

の出に限らず、年間を通して美しい日の出が見られるスポットとしても有名な場所です。

◆

埼玉にお越しの際は、ぜひとも加須(かぞ)まで足を運んでみてください。



④埼玉大橋からの初日の出
⑤浮野の里のノウルシ群生



埼玉県支部 妹尾 順子(株大利根造園)

日造協賛助会員の紹介 現場第一主義の農業メーカー 丸和バイオケミカル(株)

弊社は農業・緑地場面、ホームセンター市場において、農業および農業資材の普及販売を主軸としているBtoBの農業メーカーです。農業場面では果樹や野菜、緑地場面では道路や公園、ゴルフ場など農業業界の中でもニッチな市場を得意分野としています。

その中でも我々環境緑地部は主にNEXCO、鉄道会社、県や市といった自治体関連の方々がお客様となり、除草剤を用いた道路、線路、公園等の雑草防除の



日造協賛助会員の紹介 造園関係の資格取得はお任せください! (株)建築資料研究社/日建学院

弊社は建築専門書の出版社として1969年に創業。建設・不動産関連資格取得のための講習機関『日建学院』を中心に、全国に直営114校を構え、長年の経験に基づく合格メソッドで受講生の皆様に応援させていただいております。

特に、平成の30年間に誕生した1級建築士の半数以上を日建学院卒業生が占めており、造園施工管理技士をはじめ、数多くの有資格者を建設業界に輩出させていただきました。

弊社は、工務店向け『原図資料集』を皮切りに、『庭NIWA』・『住

お手伝いをしております。近年続く温暖化や人手不足により、なかなか草刈り

だけでは作業が追いつかない中、除草剤を用いることで作業の効率化や作業環境における危険リスクの回避が行えるようになります。特に「サーベルDF」といったクズ(カズラ)に効果の高い除草剤は国土交通省の新技术情報システム(NETIS)にも登録されており、多くのお客様に使用いただいている商品となります。

除草剤というと、使用のハードルも高いかと思われそうですが、現場の皆様のお困りごとを少しでも解決できるよう、できる範囲の中で最大限のご提案をさせていただければと存じます。雑草にお困りの方は、ぜひお気軽にご連絡くださいませ。丸和バイオケミカル株式会社

資材・家庭園芸事業部/環境緑地部
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 須田町佐志田ビル
TEL: 03-5296-2326

宅建築』・『CONFORT』などの専門出版物、土木積算ソフト、造園エクステリア向

けCADを販売するなど、業界の効率化にも取り組んでおります。今後も資格取得支援、建築出版、業務効率化で業界の発展に貢献していきたいと考えております。

引き続き宜しく願い申し上げます。

只今、1級、2級造園施工管理技士 受検対策コース募集中!

2級は17歳以上、1級は19歳以上から

一次検定受検可!

詳しくは、下記コールセンターまでお問合せ下さい。

日建学院コールセンター

フリーコール: 0120-243-229

受付時間 10:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く)

株式会社建築資料研究社/日建学院
〒171-0014 東京都豊島区池袋2-38-1
TEL: 03-3988-4711
FAX: 03-3987-7144
URL: <https://www.ksknet.co.jp/index.aspx>
E-mail: hideyuki.akagi@mx1.ksknet.co.jp

委員会等の活動

●植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
4/4 植栽基盤診断士補研修会で使用している教材の改訂編集と試験問題について検討
●地域リーダーズ会議
4/4 来年度の事業計画・体制について検討
●資格制度委員会(全国)
4/8 2023年度の実施報告、2024年度の実施計画について審議
●造園技術フォーラム部会
4/12 第16回造園技術フォーラム(川崎)、第17

回造園技術フォーラム(大阪)の開催計画と、DX等の技術情報発信について検討

●安全部会
4/17 労働基準監督署へのヒアリング、「造園安全衛生管理の手引き」の改訂、安全衛生対策項目確認表の策定
●女性活躍推進部会
4/17 城東職業訓練センター出前講座を実施
●植栽基盤診断士認定委員会
4/19 植栽基盤診断士補研修会で使用している教材の改訂原稿の確認と試験問題について検討

【全国造園フェスティバル2024 開催予告】

造園を広く周知するため、今年も10月をコア月として開催します。開催登録のご案内を7月にお送りしますので、開催にご協力頂ける会員の皆さまは、ぜひご準備の程よろしく願います。

編集後記 ゴールデンウィークに自宅の庭木に触れて癒され、いい運動にもなり、リフレッシュできました。緑を活かす職業って素晴らしいですね。(T)



緑を繋ぐ

私は「ご縁」によって人生がつくられていると感じています。職場、友達、そして家族もご縁によって結ばれた大切な存在です。今までたくさんのご縁に恵まれてきましたが、その中でも特に大きな変化をもたらした和太鼓との「ご縁」がありました。

◆

和太鼓との出会いは大学でした。全身の筋肉を使って演奏する太鼓はもはやスポーツです。体を動かすのが大好きな私は、和太鼓に夢中になりました。

太鼓の練習はもちろんのことですが、先生方をはじめ多くの方にコミュニケーション、礼儀、挨拶、仲間と同じ目標に向かって熱くなることなど、人として大切なことを教えていただきました。

4回生では部長になり、これまで以上に必死に取り組みました。しかし、ある時色々なことが重なり、自分の殻に深く閉じこもってしまった時期



和太鼓の演奏

があります。全てにおいて希望を見いだせなくなり、どんどん自分が腐っていきました。何もかもどうでもいい、先生方や仲間との連絡も絶って自暴自棄になっていたさなか、恩師からの言葉で目が覚めました。

◆

「縁を切るのは簡単だ。けど繋いでいくのは大変なんだ。だから必死に繋ぐんだ。」

これまでの人生で数えきれない人との出会いと学びで今があり、それらすべては「ご縁」によって繋がっていたことを改めて思い出しました。恩師の言葉を胸に刻み、今までお世話になった方へお礼に向かいました。

造園業という仕事柄、植物や人との新しい「ご縁」がたくさん待っていると思いますが、恩師に頂いた言葉を忘れず一つ一つ大切に繋いでいきたいです。

茨城県支部
茂木 夢乃
(株)水庭農園



日造協新入会員のご紹介

社名/住所	代表者/FAX	
(株)日本庭園 北海道札幌市厚別区厚別南3-2-20 ☎011-887-6506 FAX 011-887-6507	金野 光芳	
(有)植吉造園 千葉県八千代市米本2428 ☎047-488-1529 FAX 047-488-3655	吉岡 隆徳	

社名/住所	代表者/FAX	
(株)伍楽園 東京都江戸川区鹿骨2-21-2 ☎03-3670-8898 FAX 03-3670-8940	稲毛 里美	
(有)藤井造園土木 千葉県習志野市藤崎6-4-26 ☎047-473-2953 FAX 047-472-3781	藤井 勝久	

事務局の動き

【5月】
7(火)・広報活動部会
16(木)・総務委員会・財政・運営部会 合同会議
21(火)・四国総支部総会
・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会(試験部会)
22(水)・自民党各種団体協議会懇談会
23(木)・運営会議
・2027国際園芸博覧会特別委員会
28(火)・総支部長等会議
・第1回通常理事会

【6月】
1(土)・第35回全国「みどりの愛護」のつとめ

4(火)・広報活動部会
5(水)・日本造園修景協会理事会
12(水)・(公財)国際花と緑の博覧会記念協会理事会
13(木)・全国建設研修センター評議員会
14(金)・日本造園学会全国大会~16(日)
19(水)・(公社)2027年国際園芸博覧会協会
・第9回(定時)社員総会・第18回理事会
24(月)・通常総会
・第1回臨時理事会
・講演会
・意見交換会
25(火)・地域リーダーズ(全国リーダーズ)新旧顔合わせ
27(木)・日本造園修景協会評議員会・臨時理事会
28(金)・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会